【1枚目】

4	事業コード	71140001				部·課·係名等	コー	ド1 03020100	政策	体系上の	位置付け	コード2	711004	予算科目	コード3	001060301
Ħ	事 務 事 業 名	県立・県定公園施	設維持管理事業			部 名 等	_	産業建設部	政策	の柱を	5 豊かな自然と	共生したまちづ	5 < 4)	会計 一般会計		
Ŧ	予算書の事業名	3. 県立・県定公園	施設維持管理事業			課名等		農林水産課	政 策	名 1	自然環境の保全	È・継承		款 6. 農林水	産業費	
耳	事業期間 開始年度	平成5年度以前	終了年度 当面組	業務分類	1. 施設管理	係 名 等		業務林政係	施策	名 1	. 水と緑の保全と	≤活用		項 3. 林業費		
実カ	施計画(H25~H27)への記載	有(一般)	実施計画(H26~	·H28) における区分	一般・継続・変更無	記入者氏名		森岡 勉	区	分な	:L			1. 林業総	務費	
J	実施方法 ○ 1. 指示	定管理者代行 〇	2. アウトソーシング (3. 負担金・補助	1金 ● 4. 市直営	電話番号		0765-23-1036	基本事	業 名 自	然の活用と公園の	 D整備				
											T					
	事業概要(どのような事業 <mark>?</mark> 倉城跡県定公園、片貝県定?		3. 然公園 (亚成2/4年度指	定)内の林業施設等	に関する整備事業			計画への記載予定事業内容			上段・計画	: 下段・実績		計	画	
1 /2	TO THE STATE OF TH		1 M 2 M 2 M 2 M 2 M 2 M 2 M 2 M 2 M 2 M	27 110711788888			H26	施設整備施設整備		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
							H28	旭政強佣		132	23年度	24年度	20年度	20年及	27年度	28年及
	<この事務事業は、誰、何	可を対象にしている	のか。※人や物、自然も	 容源など>			1120				7	7				
	自然公園の利用者と公園内							① 林道		km	7	7	7	7	7	
対							交	<u> </u>			3	3				
象						ľ	指標	② 林道施設		箇所	3	3	3	3	3	
							伤	3								***************************************
								(3)								
	<平成24年度における事業			が見直し内容>				① 光熱水費		円	144, 000	144, 000	144, 000	144, 000	144, 000	144, 00
	見直し無		施設管理と修繕の委託				Æ	· Jumny			116, 000	116, 000)	144,000	144, 000	144, 00
手							動	②修繕料		円	200, 000		1 600 000	200, 000	200, 000	200, 00
段	<平成25年度の主な活動内	7容>					招標	1			294, 000		J			
	既存の県定公園内における	る施設管理と修繕の	委託に加え、新たに指導	定を受けた県立自然な	公園内の施設整備			③ 委託費		円	931, 000		810 000	810, 000	810, 000	810, 00
							_				870, 000					
	<この事務事業によって、 自然公園内の林業施設等を							① 整備箇所/必要箇所		%	100		100	100	100	10
	日然公園内の怀未旭設寺で	「旭工に維持日生り	യ ം				成	Č			100					
意図							果 指	② 委託箇所/委託必要箇所		%	100		100	100	100	10
_							標				100	100				
								3								
オ	<施策の目指すすがた>						1	成果指標が現段階で取得でき	ていない場合、	その取得	界方法を記入		1			
	自然公園の豊かな環境を守る。	Fりながら林業施設	等が持つ公益的機能の紀	維持管理を図り、訪∤	ιた人々が憩い、感動できる	6場所にす										
和果	ত :															
♦ 3	この事務事業開始のきっかり	けとこれまでの事務	8事業見直しの経緯					費目			実	績		計	画	
市内	内に県定公園区域が指定され	れ、林業用施設等が	が整備された以降から開	始							23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
							B-	(1)国・県支出金 (2)地方債		(千円)	0		750	1,000	1,000	
							源	(2) 地方領 (3) その他(使用料・手数料等	汞)	(千円)	0		0	0		
◆ []	開始時期以後の事務事業を国	取り巻く環境の変化	Lと、今後予想される環	境変化(法改正、規	制緩和、社会情勢の変化な	ど)	片	(4) 一般財源	47	(千円)	1, 487	-	3, 641	2, 592	2, 592	1, 59
各村	林業施設の老朽化に伴い、	今後維持管理費が増	曽加すると思われる。					予算(決算)額((1)~(4)	の合計)	(千円)	1, 487	1, 592	4, 391	3, 592	3, 592	1, 59
								(1) 需用費		(千円)	467			472	472	
◆i なし	市民や議会などからの要望	・意見(担当者の私	4見ではなく、実際に寄	せられた意見・質問	などを記入)		支	(2) 委託料 (3) 工事請負費		(千円)	870 0		810	870 2, 000	870 2, 000	
'& L	0						上	(4)負担金補助及び交付金		(千円)	0		1,500	2,000	2,000	
♦ إ	県内他市の実施状況	◆把持	握している内容又は把握	屋していない理由の記	己入欄		部	(5) その他		(千円)	150	-	281	250	250	25
	○ 把握している	施設	の規模や整備方針が異な	なるため比較できない	١,			A. 予算(決算)額((1)~((5)の合計)	(千円)	1, 487	1, 592	4, 391	3, 592	3, 592	1, 59
	● 把握していない							事務事業に携わる正規職員数		(人)	3		3	3		
♦ ī	市民と行政の協働状況		<mark>択した協働状況の内容で</mark> 管理業務であるため。	又は理由の記入欄				事務事業の年間所要時間	5m)	(時間)	180 780			180 792	180 792	
	○ 協働している○ 協働可能だが未実施	→	百年末仂でめるだめ。					. 人件費(②×人件費単価/千 務事業に係る総費用(A+B)	-H)	(千円)	2, 267			4, 384		
	● 協働になじまない							参考) 人件費単価		(円@時間)					4, 400	

ľ	目	的	妥	当	性	の	評	徝	Щ

1. 基本事業と	の直糸	語度(事務事業の意図が基本事業の意図にどのくらい直紹	吉しているか、その理由*	、記載)	★ 評価	西結果の総括と今後	の方向性			
● 直結度大		林業施設の維持管理は林業における公益的機能の発揮				評価結果の総括				
○ 直結度中	-	説 意義は大きい。			(1)	① 目的妥当性	■ 適切 ○ 目的廃止又は再設定の)全地あり		
○ 直結度小		明 				② 有効性	■ 適切 ○ 成果向上の余地あり	3(200)		
		: (民間や他の機関でも実施可能な事務事業か)				③ 効率性	■ 適切○ コスト削減の余地あり			
		り市による実施が義務付けられている				④ 効率性④ 公平性	● 適切 ○ 受益者負担の適正化の			
			A 38/ Ade.)		(0)	今後の事務事業の		赤地のり		
○ 法令など め、市に	たよる よる3	る義務付けはないが、、公共性が非常に高く、民間(市民 実施が妥当	・企業等) によるサービ	スの実施が不可能(又は困難)なた	(2)		カ回性 ミま(又は計画どおり)継続実施	年度		
● 民間でも	サート	ビス提供は可能だが、公共性が比較的高く、市による実施	 色が妥当			 終。	了 ○ 廃止 ○ 休止			
○ 市が実施	iしてい	いるが、関与の必要性は低く、今後は市の関与を縮小(廃	廃止) が妥当			○ 他の事務	8事業と統合又は連携			
○ 既に目的	を達成	成しているので、市の関与を廃止が妥当				○ 目的見直	IL			
						事務事業	色のやり方改善			
根拠法令等を記	己入		事務の区分	自治事務		-				
3. 目的見直しの		! (現状の【対象】と【意図】は適切か、また、見直す場	合その理由と内容を説明	、できない理由も説明)	★改革・	改善案(いつ、どの	のような改革・改善を、どういう手段で行うか)		コストと	成果の方向性
		現状の対象と意図は適切であり、見直しの余地なし。					現状維持		コス	トの方向性
なし	説									1 4223141111
<i>7</i> 4 C	明									
						平成26年度				
【有効性の評	評価)]				平成20年度				44.4+
4. 成果向上の余	余地 (- (成果の向上が今後どの程度見込めるか説明、できない理	由も説明) ※成果指標の	計画と実績との比較に基づき記入						維持
		成果向上の余地なし。			実					
	説				施予					
なし	明			成果実績中位	予定		現状維持が望ましいが、施設の老朽化には予算措置か	が必要となる。		
					時				成果	の方向性
5. 連携すること	レで.	今より効果が高まる可能性のある他の事務事業の有無 (どう効果が高まるか説明	できない理由も説明)	期					
0. 2007 0 2 2		連携することで、今より効果が高まる可能性がある他の		C C G C PELIN O DO S 1)		th E #844				
						中·長期的 (~5年間)				
なし	説明					, , , , , ,				維持
【効率性の評	亚/亚	1								
■ / / · · · · · · · · · · · · · · · · ·	,	』 :地(手段を工夫することで、事業費を削減できないか説	明 ベキない畑中を新田							
0. 尹未貫の刑例		120 (子校を工犬することで、事業員を削減できないが説 今後維持管理に係る費用が増加すると予想されるため。	男、てきない 連田も説例)						
		7 仮性所も生に体の長用が相加するとす心でもの。			→ VA= E	京/IT / 細 E / 小托部/IT	-\			
なし	説明					平価 (課長総括評価	 園、層ヶ岳県立自然公園、升方城址森林浴の森などの	維持無理業務でもは 引き続き宝宝	4. アハノ心亜	
	-91				がある。	E 五國 17月	國、信り出来立日派五國、月月朔星林が旧の林などの	雅 所 自 生 未 切 て め り 、 り こ 帆 こ 夫 が	ECC1.120-3	二次評価の要否
7 1 /d- att stol	lành an d	A like / A in all State Bill A in the late of the late	e 2- 2-1 - vm 22-3 - 62 nm 1							
7. 人件費の削		<mark>余地(今の業務時間を工夫して少なくできないか説明、て</mark> 現状で概ね適正であると考えられる。	ござない埋田も説明)							
		グラストを受けてののですんりかる。								
なし	説明									_
	95									不要
【公平性の評										
8. 受益機会の適		の余地(受益の機会が偏っていて不公平でないか)	A III de I							
		利用者が市民のみならず不特定多数であるため適正化の気	示地なし。		★二次記	平価 (経営戦略:	会議 ・ 部会)			
なし	説									
.60	明									
9. 受益者負担の		化の余地(県内他市と比較し、適正な水準か)								
	7	概ね適正である。								
平均	説									
平均	明									

事業コード

部・課・係名等 コード 1

03020100

政策体系上の位置付け

711004

予算科目

【1枚目】

000000000

事 務 事 業 名 里山林オーナー事業							溶	名 等		産業建設部			政策の	柱 基	5 豊かな自然と	共生したまちづ	らくり	会計該当なし			
予	算書の事業名	なし					課	名 等			農林水産課		政 策	名 1	自然環境の保全	継承		款 該当なし		-	
事	業 期 間 開始年度	平成16年度	終了年度	当面継続	業務分類	5. ソフト事業	係	名 等			業務林政係		施策	名 1	. 水と緑の保全と	活用		項 該当なし		-	
	計画(H25∼H27)への記載	# ##	宇旋	計画(H26~H28)		実施計画書に記載しない	\ ₽ λ	者氏名			森岡 勉		区	分な				該当なし			
							-						_			1940 PM		1 成当なじ			
夹 /	施 方 法 〇 1. 指7	正官埋石代行 () 2. FØF>	ソーシング 〇 3	. 貝担金・棚切	金 ● 4. 市直営	电音	話番号		0	765-23-1036		基 本 事 業	名目	然の活用と公園の	登偏					
▶事第	業概要(どのような事業	(יל:							◆実別	施計画~	への記載予定事業内容				上段・計画:	下段・実績			計画		
			0~2, 000ൺの⊠	【画に小分けにし、	、きのこ栽培やネ	森林浴などの自然とのふれ	1あいをネ	希望す	H26	6				単							
9 V I	に貸す (利用者:里山林	·オーテー)。							H27	7				位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	£	28年度
									H28	8											
<	この事務事業は、誰、何	何を対象にしてい	いるのか。※人	や物、自然資源な	:ど>				T						22	22			+		
里	山林オーナーを希望する	る人(市民に限り	らず)							1	市で整備した区画			区画	22	22	2	2	22	22	22
5:1									. 1	対象											
象									į	省 2							1				
									ŧ	標							 				
										3											
<	〈平成24年度における事	業見直しの有無	> < 平成24年	度の活動及び見直	し内容>										22	22			-		
		укув <u>ш</u> е . 173м	3 年前に	オーナー契約した	:区画の継続意向	を聞き更新契約を行う。	その後、	現地		1	オーナー(利用者)の	延べ丿	人数	人	17	16	- 2	2	22	22	22
T.	見直し無	#				びHPで里山林オーナー 行い、新規里山林オーナ			7	活							 				
段 <	平成25年度の主な活動内	内容>	7. 7	47至日10%200	.91五 区、 加 <u>区</u> と	110、初观王山州3)	E // X	•	→ ‡	指 ②											
			き向 た明 も 亜 鉱	初めた行う スク	3. 14.11.11.11.11.11.11.11.11.11.11.11.11.1	- プを張り区画を明確にし	e B rt	÷2 π.	ŧ	標											
						「規里山林オーナーを決定		A FIX /X		3											
<	この事務事業によって、	対象をどのよ	うに変えるのか	>											100.00	100.00			-		
	然とのふれあいの場の扱									1	利用率			%	77. 27	72. 73	100.0	0 1	00	100	100
÷									F.	成											
図									Ť	指②							1				
									ŧ	標							 				
										3											
z <	施策の目指すすがた>								1	↑成果扌	指標が現段階で取得でき	てい	ない場合、そ	の取得	方法を記入					_	
の里	山林オーナー(利用者)	に里山の良さ	ヒ必要性を認識																		
程																					
♦ こ 0	の事務事業開始のきっか	けとこれまでの	事務事業見直し	の経緯											実終	ŧ			計画		
		な保全・利用促	進事業」により	里山を測量し、	区画に小分けし、	、現場の整備を行う。平成	成16年度(に里山林			費目				23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	Ę	28年度
<u>-</u>	ナーの募集開始。									(1)	国・県支出金		(-	千円)	0	0)	0	0	0	(
									E SI	생점'	地方債			千円)	0	0		0	0	0	C
									P	M	その他(使用料・手数料	等)		千円)	0	(0	0	(
	治時期以後の事務事業を 者が増加し要望があれば					制緩和、社会情勢の変化な	\$ E)		Ī		一般財源	\ m A		千円)	0	0		0	0	0	(
בי נדענייו	日が、日加し安主が、例がは	. 匹回切指放切换	n 02037.	近午18利用日57	, J C E C U O .	•			H		予算(決算)額((1)~(4) 需用費	か合		千円) 千円)	0	0		0	0	0	
●市戸	民や議会などからの要望	• 音見(担当者	の私見でけかく	実際に寄せら	h.た音見・質問z	たどを記入)			=		委託料			千円)	0	0		-	0	0	
	オオーナーより協議会の					8 C C 107 V			Ē	支 —	工事請負費			千円)	0	0		0	0	0	(
									P	-	負担金補助及び交付金			千円)	0	0		0	0	0	(
◆県内	内他市の実施状況	•	▶把握している	内容又は把握して	いない理由の記	2入欄			T I	(5)	その他		(-	千円)	0	0		0	0	0	(
	● 把握している	→ ff	也市に実施事例	なし。							A. 予算(決算)額((1)~			千円)	0	0		0	0	0	(
) 把握していない										事業に携わる正規職員数			(人)	3	3		3	3	3	
	民と行政の協働状況			状況の内容又は理		- L to C					事業の年間所要時間	e 174 \		時間)	240	200				200	200
	○ 協働している ○ 物働可能だが書事施	→ 1	ありい 佐代 じめ	り、実際の活動は	. _ハ ーノーによる	こここから。					牛費(②×人件費単価/= 業に係る総費用(A+B)	□円)		千円) 千円)	1, 041	880	88	_		880 880	880
	協働可能だが未実施協働になじまない										表に係る総質用 (A+B) 人件費単価			十円)	4, 336	4, 399				4, 400	4, 400
•	www.mincracoarav.	1								(9/7)	八口具平岡		(1-	, O my (m))	4, 550	7, 555	4, 40	4, 4	·	1, 100	7, 400

一灰	20 千皮 点件印事勿事未可叫	112 (-	11,20, 24	十尺大师	ł AK							
【目的妥当性の	り評価】											
1. 基本事業との	D直結度 (事務事業の意図が基本事業の意図にどのくらい直	結しているか、その	理由も記載)									
○直結度大	自然環境の保全となると面積は少ない。											
○直結度小												
	当性(民間や他の機関でも実施可能な事務事業か)											
	こより市による実施が義務付けられている											
	○ 法令などによる義務付けはないが、、公共性が非常に高く、民間(市民・企業等)によるサービスの実施が不可能(又は困難)なため、市による実施が妥当											
● 民間でもサ	ナービス提供は可能だが、公共性が比較的高く、市による実	施が妥当										
○ 市が実施し	しているが、関与の必要性は低く、今後は市の関与を縮小 (廃止)が妥当										
○ 既に目的を	を達成しているので、市の関与を廃止が妥当											
根拠法令等を記力	A. Company of the com	事務の区分		自治事務								
3. 目的見直しの	余地 (現状の【対象】と【意図】は適切か、また、見直す場	合その理由と内容を	対明、できな	い理由も説明)								
	現状の対象と意図は適切であり、見直しの余地なし。											
	説 明											
【有効性の評	価】											
4. 成果向上の余地	地(成果の向上が今後どの程度見込めるか説明、できない理	見由も説明)※成果丼	6標の計画と実	績との比較に基	づき記入							
	成果向上の余地なし。											
	明			成果実績	下位							
	24											
5. 連携すること	で、今より効果が高まる可能性のある他の事務事業の有無	(どう効果が高まるだ	い説明、できな	い理由も説明)								
	なし											
	説											
	明											
【効率性の評												
	↑Ⅲ』 の余地(手段を工夫することで、事業費を削減できないか診	明、できない理由も	(説明)									
7 // / / / / / / / / / / / / / / / / /	今後維持管理に係る費用が増加すると予想されるため。											
	説											
,4 C	明											
7 1 唐典 企物以	きの人場(人の学習吐明とアナ)で小みノベとない。※四	マナヤ1 / m + 4 =× nn	\									
7. 人件實の削減	成の余地(今の業務時間を工夫して少なくできないか説明、 現状で概ね適正であると考えられる。	じさない埋田も説明)									
なし	説											

【公平性の評価】

なし

低い

説明

る。説明

8. 受益機会の適正化の余地(受益の機会が偏っていて不公平でないか)

9. 受益者負担の適正化の余地(県内他市と比較し、適正な水準か)

里山の利用者(オーナー)より使用料金を徴収し、所有者に支払う。

|氷見市は1000㎡当たり年間約12000円。当市は約4000円で低いが、受益者の負担を考えると概ね適正であ

	T結果の総括と今後の方向性			
	評価結果の総括	◆ >\$r (m		
	① 目的妥当性	●適切	○目的廃止又は再設定の余地あり	
	② 有効性	● 適切	○成果向上の余地あり	
	③ 効率性	● 適切	○コスト削減の余地あり	
	④ 公平性	● 適切	○ 受益者負担の適正化の余地あり	
(2)	今後の事務事業の方向性			
	● 現状のまま(又は計			
	○ 終了 ○	廃止) 休止	
	○ 他の事務事業と統合	アは連携		
	○ 目的見直し			
	○ 事務事業のやり方改	善		
で革・	改善案(いつ、どのような改〕	革・改善を、と	(ういう手段で行うか)	コストと成果の方[
	現状維持			
				コストの方向性
実施	平成26年度			コストの方向性 維持
実施予定時期	平成26年度 現状維持			
施予定時				維持

★一次評価(課長総括評価)	
所有者の管理が行き届かなくなりつつある里山と、一方で自然とふれあいを求める人々との結びつける事業であり、グリーンツー リズムの一環ともいえる。拡充していく必要があると考える。オーナー間やオーナーと所有者との連携を図ることも重要である。	二次評価の要否
	不要
★二次評価 (経営戦略会議 · 部会)	